

■本市の資源と計画の背景・課題

- ・ **豊かな自然環境**（豊かな山野河海と四季の恵み, ラムサール条約登録湿地） ・ **優れた観光資源**（加茂水族館, 出羽三山とサムライゆかりのシルクの日本遺産）
- ・ **新技術の進展・高等教育機関等の研究活動**（ICT, 自動運転, AI, 多様な地域の企業, 4つの高等教育機関, ベンチャー企業の創業・事業化）
- ・ **城下町の伝統・生活の文化**（基幹産業の農林水産業, 黒川能など伝統芸能, ユネスコ食文化創造都市）
- ・ 出生数が年間1000人を下回り, **年少人口が減少** ・ 毎年1000人の高校卒業生の市外転出で **生産年齢人口が減少** ・ **大規模自然災害が頻発・激甚化**
- ・ **中山間地域・集落の人口減少, 人材不足**が深刻化 ・ 築後30年以上 **公共施設の老朽化** ・ 市内企業では **人材・労働力の不足が顕著に**



基本構想

計画期間：2019（平成31）年～2028年（10年間）

市民の声・意見を計画に反映

○めざす都市像

ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡

○まちづくりの基本方針

創造と伝統の力で、地域の個性を磨き、資源を活かして、まちの魅力を高めます。

市民・企業、行政が力を合わせて、人口減少社会に向き合い、みんなの命が輝くまちを築きます。

資源の循環と人や文化の交流を促進し、持続的で多様性のあるまちを創ります。



7つの施策の大綱

大綱1 暮らしと防災

大綱2 福祉と医療

大綱3 学びと交流

大綱4 農・林・水産業

大綱5 商工と観光

大綱6 社会の基盤

大綱7 地域の振興

○計画の推進方針




対話重視と市民目線で様々な主体との協働を推進

地域の実態に基づき、国・県等への提言要望と広域的な連携を実施

効果的で効率的な行財政運営で行政ニーズの変化に適切に対応

## 基本計画

計画期間：2019（平成31）年～5年目途に見直し

	1 暮らしと防災	2 福祉と医療	3 学びと交流	4 農・林・水産業	5 商工と観光	6 社会の基盤	7 地域の振興
若者・子育て世代応援							
全世代全対象型地域包括ケア推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>助け合い・支え合う地域コミュニティづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを生き育てやすい環境の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代を担う人づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な農業人材の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の地元就職・地元回帰促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクトな市街地と地域ネットワークの都市づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡地域 城下町風情と都市機能集積</li> </ul>
輝く女性活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災・消防の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こころと体の健康づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における人づくり</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「地産地商」で地元産品活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通基盤整備による交流・連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤島地域 農業と「ふじ」のまちづくり</li> </ul>
食文化・食産業創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>過疎地域・集落の維持・活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の地域自立支援充実</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への投資促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度研究教育による産業振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽黒地域 出羽三山など観光地づくり</li> </ul>
産業強化イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住・定住の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の暮らしの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興と歴史資源活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>付加価値向上と販路拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡ならではの観光の振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で安心な住環境など生活基盤整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>櫛引地域 フルーツの里・歴史文化継承</li> </ul>
城下町つるおかりブランディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源循環社会の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療提供体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民スポーツの振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「切って使って植える」豊かな森づくり</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝日地域 豊かな自然など多様な資源活用</li> </ul>
地域国際化SDGs推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能なエネルギーミックス</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産品ブランド化と加工品開発</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>温海地域 温泉と日浴道を活用した振興</li> </ul>

■ 未来創造のプロジェクト  
分野横断(横串)的展開・相乗効果

ACTION (改善)

PLAN (計画)

■ PDCAサイクルによる計画の進行管理

各分野の項目に成果指標を設定・計画を5年を目途に見直し

CHECK (評価)

DO (実行)



## 未来創造のプロジェクトの設定

各分野を横断的に展開し、相乗効果を狙った取組

### ○社会システムを整える

#### 若者・子育て世代応援プロジェクト

- ・若者の地元就職・地元回帰に繋がる奨学金制度を創設

#### 全世代全対象型地域包括ケア推進プロジェクト

- ・地域包括ケア推進・地域医療を推進する部署を新設

#### 輝く女性活躍推進プロジェクト

- ・働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの推進

### ○産業をのばす

#### 食文化・食産業創造プロジェクト

- ・魅力的な食材や食の提供に携わる人材の確保と育成
- ・先進技術を取り入れたスマート農業の展開

#### 産業強化イノベーションプロジェクト

- ・本市の中小企業など多様な企業の連携と相乗効果の発揮
- ・バイオを核とした産業集積（慶應先端研、国立がん研等連携）

### ○まちを活性化する

#### 城下町つるおかりブランディングプロジェクト

- ・松ヶ岡開墾150年（2021年）・酒井公入部400年（2022年）

#### 地域国際化SDGs推進プロジェクト

- ・地域の主体的なまちづくりにつながるSDGsの展開

## 市民の声・意見を計画に反映

- 市民ワークショップ「つるおか未来カフェ」を開催（3回）
- 各地域振興懇談会で総合計画を議論
- 鶴岡まちづくり塾で地域ごとにワークショップ（KJ法）を実施

## 総合計画キャッチフレーズの設定

- 総合計画全体を表す「キャッチフレーズ」を今回新たに設定

「毎日、おいしい。ここで、暮らしたい。」

## 施策の大綱に「地域の振興」を設定

- 新たに7番目の施策の大綱として「地域の振興」を設定
- 基本計画の取組にも新たに「地域の振興」の項目を設定  
※鶴岡地域を含めた6地域の振興施策を展開

## PDCAサイクルによる計画の進行管理

- 計画の進行管理に、新たにPDCAサイクルを取入れ
- 基本計画各分野の一定項目に成果指標を設定  
農業産出額 → 400億円/年（2028年度）  
観光入込客数 → 790万人/年（2028年度）